

クオリティインディケーター (QI) 成果報告

【眼科】

指標名

内眼手術後の感染性眼内炎の防止

目標:ゴール

内眼手術での術後完成眼内炎を0にすること

目標:ゴール達成による効果

術後感染性眼内炎という重篤な合併症をなくすことで 患者さんの視力予後向上に寄与すると考えられる

目標:ゴールに対する成果の状況



目標:ゴール達成度

□ S : 大幅な目標を上回った

□ A⁺ :目標を多少上回って達成

☑ A : 目標を達成

□ B⁺ : 目標を少し下回った

□ B :目標を下回った

□ C :目標を大幅に下回った

□ - :外的要因より継続困難となった

目標:ゴールの課題・改善策

院内発生の術後感染性眼内炎は発生せず、目標を達成できた。

内眼手術の術後感染性眼内炎の発生率は 0.02~0.05%程度のため、

偶発的に少なかった可能性も否定できない。引き続き術後感染性眼内炎の発生数をモニタリングし、

術中・術後の感染管理対策実施状況の確認や見直しに役立てていく。